

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
情報系資格対策講座 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	90	単位	4
担当教員	伊藤 希慧			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
担当教員は、主に航空分野・保険分野におけるシステム開発とマネジメントに従事。提案、要件定義、開発、テスト、運用のシステムライフサイクル全般に渡る実務経験有り。基本情報技術者試験の資格を有する。											
授業概要											
午後試験について過去問を解き、見直しを行った上で解説を行っていく。早く過去問を解き終わった学生に対しては適宜質問を受け付け、個別に解説を行うことで全学生が効率的な学習を進められるように実施していく。											
到達目標											
基本情報技術者試験のテクノロジ分野(基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術)、マネジメント分野(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査)、ストラテジ分野(システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務)のうち過去に出題された問題を重点的に理解する。											
授業方法											
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 本講座では基本情報技術者試験の午前試験免除制度に合格していることを前提とし、午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 過去問の点数の増減を基に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
過去問に対して学生が適当に解答をしてしまうと誤答者の多い問題が適切に選び出せず、解説の効果が薄い事態に陥ってしまうため、学生が一生懸命に過去問に取り組むことを最重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回の講義で説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。コンピュータテクノロジーで利用した教科書を忘れずに持参すること。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	基本情報技術者試験の午前免除資格の必要性、今後の進め方を理解する。										
第2回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第3回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第4回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第5回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
情報系資格対策講座 2	
第6回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第7回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第8回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第9回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第10回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第11回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第12回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第13回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第14回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第15回	過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。